

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～あなたの「モチベ」はどこから？～

「モチベが上がりません。」「モチベが上げたい。」というセリフを聞くことがあります。誰のモチベーションが問題になっているのでしょうか。

自分？それとも自分以外の人でしょうか？

どうしてモチベーションが上がることを期待しているのでしょうか。

やる気をださせて貢献してもらおうためでしょうか。

「モチベーションを与える」という言葉もあります。

しかし、モチベーションは、外から、人から与えられるものではありません。もちろん「きっかけ」になることはありますが・・・

そこで・・・またまた・・・そう・・・**ドラッカーです！**



「エグゼクティブ（上級管理職や経営幹部、重役）の成果をあげる能力によってのみ、現代社会は2つのニーズ、すなわち個人からの貢献を得るといふ組織のニーズ、自らの目的達成のための道具として組織を使うといふ個人のニーズを調和させることができる」・・・『経営者の条件』

本来、動機づけが必要なのは、自己実現や自己成長という『自らの目的』のためです。

それゆえに動機づけは内側から来なければならないのです。

ちなみにドラッカーがいう自己実現とは・・・

地位や名誉や金銭的なものを手にすることではなく、自分の能力を最大限に伸ばして世の中の役に立っている状態です。

個人が学習・仕事により能力を習得し、自己成長することで、仕事の成果をあげ、その結果が組織の業績に反映させることで両者（個人と組織）のニーズが調和的に一致します。

次に示す成果をあげる能力は、そのために身につけておかなければならない**習慣的能力**です。

- ① 時間を管理する
- ② 貢献に焦点をあわせる
- ③ 自他の強みを生かす
- ④ 最も重要なことに集中する
- ⑤ 成果のあがる意思決定をする

特に、②「どのような貢献ができるか」を自問することは自己開発のスタートラインに立つことです。そして③「自分の強みを磨き」ながら人生を歩んでいくのです。

「自らの貢献を問うことは、可能性を追求することである」・・・『経営者の条件』

ドラッカー学会理事 佐藤 等『致知』2021年10月号 仕事と人生に生かすドラッカーの教えより

愚痴や不満を言う前に、モチベーションの起点は自分であることを自覚しましょう。

今のあなたに身につけている習慣的能力は、①～⑤のうちいくつありますか？

この通心（信）や集会で、よく「時間」について取り上げますよね。

① 時間を管理する・・・これはもうみなさんできつつありますか？

自分のルーティーンは確立してきましたか？では、②貢献に焦点をあ

わせてみる③自分の強みを見つける、生かす。友人などの強みを見つ

ける、④今、この高校時代にしなければならない最も重要なことに集

中する、これらをおの県高生活で身につけてもらいたいと思います。

そして・・・⑤の進路や就職などで成果のあがる意思決定をしてほし

いと願っています。

